

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	れいんぼう			
○保護者評価実施期間	R7年 11月 20日		～	R7年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26世帯	(回答者数)	18世帯
○従業者評価実施期間	R7年 12月 9日		～	R7年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	11人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<環境・体制> ・広い活動スペースの確保 ・マンツーマンでの職員配置	・活動に合わせて部屋を移動。 ・担当職員を決め、お子さんの様子をフィードバック時に話をする時間の設定。 ・お子さんの発達程度に合わせて、職員配置を増やして対応。	・白木にある古民家を利用して、自然が多い環境で過ごせる時間の増加。
2	<保護者・地域支援> ・相談への迅速な対応 ・ペアレントトレーニング研修の実施	・相談ができる方法を複数設定し、迅速に返答。 ・ペアレントトレーニング研修の受講を地域の方にも周知。 ・イベント（ハロウィン、クリスマス、古民家）には、兄弟児の参加可能。	・ペアレントトレーニングの実践研修の実施。
3	<支援内容> ・様々なカリキュラムの設定 ・行事、季節感を感じられる活動 ・外部講師の充実	・5領域を網羅できる活動内容の選定。 ・外部講師（リトミック、臨床美術、ヨガ、習字等）の方による指導。	・地域の方を中心とした外部講師の充実。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<広報> ・ホームページの更新 ・インスタグラムへの投稿	・投稿する時間の確保 ・ホームページを更新するための時間と費用の確保	・インスタグラムへの定期的な投稿。 ・HPに修正箇所がある場合の早期対応。
2	<地域交流> ・近郊の保育園や幼稚園との交流 ・他のこどもとの活動	・通所している利用者さまのほとんど全ての方が保育園、幼稚園に通園しており、必要性がない。 ・未就学児の親子を対象にした食育教室を開催したが、参加者はなく、広報不足。	・未就学児を対象にした親子教室を開催する際には、より範囲を広げた広報活動を行う。
3	<保護者支援・兄弟児支援> ・保護者会の開催 ・兄弟児を対象にした会の開催	・療育をしていない時間がなく、時間の確保が難しい。 ・兄弟児のみを対象にした会を児童発達で行う意義を感じない。	・古民家での集まり以外に、れいんぼうで保護者の方が集まれる保護者会を半年に1度開催。